

交流のひろば

情報をお寄せください。市役所広報広聴課 890-6642へ。

新鮮な気持ちで曲作りに



「市民のうた」作曲部門で市長賞
小淵 賢一さん(69) 小屋原町



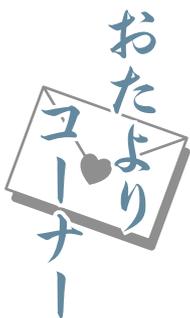
前橋市民音楽連盟が主催する第四十一回「市民のうた」の作曲部門で、市長賞に選ばれた。過去にも三回受賞している。「今回の詞はどちらかという」と、童謡調という感じがしました。メロディーだけが審査の対

象になるのですが、ピアノ伴奏の譜も付けて応募しました。自分の思いが凝縮されますから」長年、小中学校で子どもたちに音楽を教えてきた。作曲は、大学時代から関わってきているので、作曲の喜びや苦しきも十分経験してきている。「詞をじっくり読んで、イメージを作ることが大変なんです。今回は、子どもも大人も歌えるように音域を狭めて、高音、低音を少なくしました。メロディーの最初の部分が大切ですから、特徴を持たせることにも時間をかけましたね」最近では童謡の曲作りも多く手

がけている。県の童謡作曲コンテストでは知事賞の実績も。「音楽関係の仲間との交流も広がり、大きな財産となっています。いつも新鮮な気持ちで作曲を続けていきたいですね」音楽のほかにも、俳句、写真、水墨画など趣味の幅も広い。特に俳句は、父親の影響もあって、高校時代から続けている。「趣味のおかげで、人生に退屈することはありません。これからは、クラシックの曲にも挑戦していきたいですね」曲作りへの情熱は高まるばかり。人に感動を与える素晴らしい作品を期待したい。

文学碑巡りに

参加して



千代田町五丁目・阿部幸彦60歳

詩のまち前橋に住みながら、どこにどんな碑があるのかあまり知らず、訪ねてきた友人に聞かれて困ったことがあります。折良く、バスによる文学碑巡りがあると聞き、早速参加してみました。スタートは前橋駅。北

口広場に童謡「チューリップ」の記念碑があることやその作曲者・井上武士が現在の五代町出身であることを初めて知りました。バスは、草野心平旧居跡、林倉寺、前橋こども公園(文学の小道)、最善寺、嶺公園、才川公園などを回り、最後に広瀬川河畔の前橋文学館へ。風土が生んだ文学を展望できる行程でありました。

案内役の幹事さんが、あらかじめ車中で、作者の生い立ちや人脈などを丁寧に説明してくださったので、現地に行くと、いっそう理解が深まる気がしました。緑の風の中、楽しくためになった一日でした。

まちなewsのニュース



田口町

今年で15回目 ほたる祭り



田口町ほたるの里で六月十四日と十五日の二日間、ほたる祭りが行われました。絶滅が心配されるホタルを守り育てていこうと、住民が活動を始めて今年で十五年。五月には、ほたるの里に車いすでも通行できる遊歩道が完成しました。祭りは両日とも時折、小雨の降るあいにくの空模様でしたが、家族連れなど多くの人が夜空を舞うホタルの姿に歓声を上げていました。同町ほたるを守る会の高橋昭一会長は、今年五月二十二日に初めてホタルが確認できました。これからも多くの人にこの祭りに参加してほしいですね」と話していました。